

◇角膜上皮幹細胞疲弊症の患者様をご紹介ください◇

大阪大学眼科では主任教授の西田幸二を中心に iPS 細胞株を用いた角膜上皮再生治療法の開発に取り組み、2018 年度中の臨床応用開始を目指しています。

本プロジェクトに関連して、対象疾患である 角膜上皮幹細胞疲弊症における HLA ハプロタイプの調査に関する臨床研究を行っています。HLA は移植免疫に関わるタンパクで、ベーチェット病など一部の疾患で特定の HLA との相関があることが報告されています。本研究では角膜上皮幹細胞疲弊症における HLA ハプロタイプの分布を調べることにより、本疾患群の病態解明を行うことを目的としています。

角膜輪部が障害され、角膜が結膜で被覆された角膜上皮幹細胞疲弊症の患者様がいらっしゃいましたら、重症度に関わらず大阪大学医学部附属病院眼科にご紹介いただけましたら幸いです。

みなさまご協力のほどよろしくお願いいたします。